

青森県立美術館

開館5周年記念展

芸術の青森

2011 年 1 月 22 日(土) — 3 月 21 日(月・祝)

開館時間 9:30-17:00(入館は16:30まで)

休館日 2011年2月14日(月)、28日(月)、3月14日(月)

観覧料 【芸術の青森展】

一般900(700)円 高・大生700(600)円 小・中生300(200)円

【芸術の青森展+冬のコレクション展】

一般1,300(1,000)円 高・大生900(800)円 小・中生400(300)円

※()内は前売り、および20名以上の団体料金 ※心身に障がいのある方と付添者1名は無料。

前売り券はチケットぴあ(サークルKサンクス、セブンイレブン等)[Pコード764-447/764-448]、ローソンチケット[Lコード29137]、青森県立美術館ミュージアムショップ他、県内プレイガイドなどにて11月27日(土)~2011年1月21日(金)まで販売。

主催 芸術の青森展実行委員会(青森県立美術館、東奥日報社、青森県観光連盟)

後援 青森県教育委員会、JR東日本盛岡支社、NHK青森放送局、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、エフエム青森、青森ケーブルテレビ

お問い合わせ 芸術の青森展実行委員会(青森県立美術館内)

〒038-0021 青森市安田字近野185 Tel 017 783 3000 www.aomori-museum.jp

青森県立美術館
AOMORI MUSEUM OF ART

上から1. 阿部合成《百姓の昼寝》(東京国立近代美術館蔵) 2. 村上善男《頻度n(3)》(青森県立美術館蔵)

3. 透光器土偶(三戸町八日町遺跡)(青森県立郷土館 風韻堂コレクション蔵) 4. 彩文漆塗浅鉢形土器(木造町亀ヶ岡遺跡)(青森県立郷土館 風韻堂コレクション蔵) 5. 津軽塗の手板(弘前市立博物館蔵)

芸術の青森

芸術の青森展実行委員会（青森県立美術館内）
 〒038・0021 青森市安田字近野 185
 Tel 017・783・3000 Fax 017・783・5244
 www.aomori-museum.jp
 E-mail bijutsukan@pref.aomori.lg.jp

縄文土器やこぎん・津軽塗などの生活の中から生まれた工芸から、棟方志功ら近・現代の作家に至るまで、青森県には風土に密接に結びついて発展した豊かで個性的な芸術が生まれてきました。その源泉となったのは、三方を海に囲まれ、山や湖、そして深い森を擁し、くっきりとした四季の容貌を見せる北国の自然と対峙して生きる、ねばりづよく、想像力に富んだ個性的な人々の生活感情ではないでしょうか。ある時は荒々しいまでに力強く、ある時はこのうえなく繊細に、青森県の芸術家たちが生み出してきた作品は、強大な自然と相対して生きる人間の、古代から連綿としてつらなる濃密な生命の力にあふれています。

本展では、「自然」と「人間」の関わりを切り口に、明治時代に本州最北端に「青森県」が誕生して以来、本県の風土に育まれ、青森県人としての強い自意識と鋭い批判精神をそなえた芸術家達が、あるいは上京し、あるいは郷土にとどまり、そして海外へと飛躍しながら生み出してきた作品を紹介します。それとともに、彼らの芸術の精神的な源泉となり、色彩や造形の感覚を養ってきた縄文土器や、近世以来、生活の中で育まれてきた「こぎん」や「菱刺し」などの工芸、ねぶたや風絵などの絵画、さらには今純三・棟方志功以来の版画教育の実践から生まれた、生活に根ざした子供達の豊かな幻想をたたえた教育版画や、ナンシー関の批判精神にあふれた消しゴム版画に至るまで、幅広く、北国の自然と生活が育んだ芸術的所産を紹介していきます。



1



2



3



4



5

1. 八戸市立漢中学校養護学級昭和51年在籍生徒指導・坂本小九郎「紅の上を飛ぶ船」総集編Ⅱより《星空の上をヘガサと牛が飛んでいく》（青森県立郷土館蔵）2. 〈錦見台〉津軽塗（弘前市立博物館蔵）3. 嵐山宇一《荒野の歌》（神奈川県立近代美術館蔵）4. 豊島弘尚《獅子舞B》（青森県立美術館蔵）5. 建部統足《海鏡図（右隻）》（青森県立図書館蔵）

同時開催

東北新幹線全線開業記念 冬のコレクション展

東北新幹線全線開業を記念する冬のコレクション展では、青森県立美術館のコレクションの中から本県出身・あるいは本県で活躍した代表的な作家11人の作品を各部屋一人の個展形式で展示します。芸術の青森展とあわせ、国内外で活躍する青森が生んだ個性豊かな作家達の作品をご覧ください。

展示作家：奈良美智、寺山修司、棟方志功、今純三、関野準一郎、工藤甲人、石井康治、成田亨、小野忠弘、斎藤義重、小島一郎

会期：2010年12月4日（土）－2011年3月21日（月・祝）
 休館日：12/27（月）－12/31（金）、1/11（火）、2/14（月）、2/28（月）、3/14（月）

※観覧には常設展チケットが必要です。（企画展とのセット券に関しては表面に記載。）

併設企画

青い森に連れてって

会期：2011年1月15日（土）－2月20日（日）

会場：コミュニティギャラリー

観覧料：無料

詳細が決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

関連イベント

記念講演会：「青森の色とカタチ」

日時：2011年2月6日（日） 13:30-15:00

講師：須藤弘敏（弘前大学人文学部教授）

会場：シアター（定員200名・当日先着順）

聴講料：無料

JOMO-T展 in AOMORIー縄文×Tシャツアート展ー

会期：2011年2月25日（金）－3月6日（日）

会場：コミュニティギャラリー

観覧料：無料

ギャラリー・トーク

担当学芸員が展示を案内します。

日時：会期中毎土・日曜日11:00-12:00

※本展チケットが必要です。

アクセス



JR新青森駅から車で10分

青森空港から車で20分

東北縦貫自動車道青森I.C.から車で5分

青森市営バス青森駅前6番バス停から運転免許センター行き

「県立美術館前」下車（所要時間約20分）

ルートバスねぶたん号（左回り）新青森駅南口バス停から乗車

「県立美術館前」下車（所要時間約10分）

